

◎山田憲昭市長

白山市地球温暖化対策地域推進計画の第2期計画の実現に向けての具体策についてお答えをいたします。

初めに、第2期計画における具体的な省エネルギー政策と再生可能エネルギーの推進策を示し、目標達成の道筋を可視化するロードマップの作成についてであります。

本計画の目標年度である2030年度までの10年間で二酸化炭素排出量を28%以上削減すべく、本計画では、家庭、製造業、業務、運輸の各部門において、省エネルギー、再生可能エネルギー推進のための行動実施率ごとの温室効果ガスの削減量を示しております。

2050年温室効果ガス排出実質ゼロの目標を達成するため、この削減行動の資料を基に、温室効果ガス削減のためロードマップを今年度中にも作成したいというふうに考えております。

次に、脱炭素社会実現に向けての具体策を広く市民、事業者、各種団体などに理解を得る周知対策についてであります。

ロードマップは、脱炭素社会実現に向け、大変有効な道しるべであり、作成次第、広報、ホームページ、まちかど市民講座や各種啓発イベント、こどもエコ&SDGs事業などにおきまして紹介をし、広く市民、事業者、各種団体などの理解を得るため、周知に努めてまいりたいというふうに考えております。